

報道関係者 各位

vol. 04

2015年4月20日

1万2000年前のロシア極東の岩面画から神話の世界へ・・・

**企画展「岩に刻まれた古代美術 アムール河の少数民族の聖地シカチ・アリヤン」****2015年5月21日（木）から開催！ 国立民族学博物館**

国立民族学博物館（大阪府吹田市千里万博公園 10-1）では、企画展「岩に刻まれた古代美術 アムール河の少数民族の聖地シカチ・アリヤン」を2015年5月21日（木）から7月21日（火）まで開催する運びとなりました。

本展では、ロシア連邦ハバロフスク地方に暮らす先住民族ナナイの村落であるシカチ・アリヤン村に現存する岩面画（がんめんが）について、拓本と写真を使って紹介します。さらに、ナナイの人々が岩面画と自分たちの文化とをどのように結びつけてきたのかを、村の伝承と民族資料から考えます。

ロシア極東の先住民族の伝統と現代の姿を少しでも知る機会となり、関心を持っていただければ幸いです。

**【展示概要】**

○本展の見どころ！！

**■現地で見る事ができる全ての岩面画を世界初公開！**

シカチ・アリヤン村で現在見ることができる全ての岩面画（人面、マスク、動物や鳥、船に乗る人々など）を拓本と写真を通して紹介します。これらが一斉に展示されるのは世界で初めてとなります。

**■知られざるロシア極東の村に住む少数民族ナナイの生活文化を紹介！**

少数民族ナナイの人々は、漁業や狩猟、あるいは精霊信仰などの伝統的な生活様式の一部を保持し、伝統的な文様をいかした衣装や工芸品の製作を続けてきました。展示では、漁業に関する文化、服飾文化、白樺樹皮文化そしてシャマニズムを中心とした精神世界を紹介します。

○資料点数は約 130 点

○シカチ・アリヤンの岩面画とは

ロシア連邦ハバロフスク地方の先住民族ナナイの村落であるシカチ・アリヤン村には、考古学では世界的に有名な岩面画が残されており、地元の住民がそれらに独特の神話を結びつけて、聖なる遺物として守ってきました。その神話には日本や中国にも見られる射日神話（たくさんある太陽を射落す話）や兄妹始祖神話（イザナギ・イザナミ神話のたぐい）などがあります。

○展示構成

（第1部） シカチ・アリヤンの岩面画

1-1. マスク

1-2. 動物、その他

1-3. 岩面画にまつわる伝承

（第2部） シカチ・アリヤン村の生活文化

2-1. 魚の文化

2-2. 服飾文化

2-3. 白樺樹皮文化、かご文化

2-4. シャマニズムと精神世界

## 【開催概要】

展示名	企画展「岩に刻まれた古代美術 アムール河の少数民族の聖地シカチ・アリャン」
会期	2015年5月21日(木)～2015年7月21日(火)
会場	国立民族学博物館(大阪府吹田市千里万博公園10-1)企画展示場
開館時間	10:00～17:00
休館日/無料観覧日	水曜日 / 6月21日(日)
観覧料	一般420円(350円)、高校・大学生250円(200円)、小・中学生110円(90円) ( )は20名以上の団体料金/リピーターは団体料金を適用
主催	国立民族学博物館
共催	横浜ユーラシア文化館、新潟県立歴史博物館
後援	在大阪ロシア連邦総領事館
協力	NPOユーラシアンクラブ、北方ユーラシア学会、NPOアンコール・ワット拓本保存会、ロシア連邦ハバロフスク地方シカチ・アリャン村、ロシア北方先住民族協会ハバロフスク地方支部、NPOメデ・センター
巡回先	新潟県立歴史博物館(2015年9月～10月)、横浜ユーラシア文化館(2015年11月～12月)

## 【実行委員長】

佐々木史郎(国立民族学博物館 先端人類科学研究部・教授)

東京大学大学院社会学研究科博士課程中退。国立民族学博物館第一研究部助手、大阪大学言語文化部助教授を歴任。1995年より民博。専門は文化人類学・北アジア研究。

## 【関連催し物】

## みんぱくセミナー

極東ロシアのシカチ・アリャン村の岩面画は、ロシア考古学の父と称されるA・P・オクラドニコフが調査したことで有名になりました。そこに描かれた仮面や動物は、地元の先住民族ナナイの人々にとっても神話の世界を物語る聖なるものとされてきましたが、今は観光資源としての活用が期待されています。古代遺跡、信仰対象、そして観光資源と3つの性格を持つこの岩面画の将来を考えます。

■タイトル「先住民が守る古代遺跡—アムール河流域シカチ・アリャン村の岩面画」

■日時 5月16日(土)13時30分～15時

■講師 佐々木史郎(本館教授) ■場所 本館講堂(定員450名) ■申込不要

## みんぱくウィークエンド・サロン

研究者が展示場に登場し、展示や研究についてお話しします。

■タイトル「シカチ・アリャンの岩面画とナナイの神話」

■日時 5月24日(日)14時30分～15時30分

■講師 佐々木史郎(本館教授) ■申込不要 ■場所 本館ナビひろば

■タイトル「シカチ・アリャンの岩面画の成立年代と日本の縄文時代」

■日時 7月5日(日)14時30分～15時30分

■講師 佐々木史郎(本館教授) ■申込不要 ■場所 本館ナビひろば

【お問い合わせ】 国立民族学博物館 総務課 広報係

電話:06-6878-8560(直通) Fax:06-6875-0401 Mail:koho@idc.minpaku.ac.jp

プレス向けウェブサイト www.minpaku.ac.jp/press

2015年 企画展「岩に刻まれた古代美術 アムール河の少数民族の聖地シカチ・アリヤン」  
 広報用画像リスト

		
<p>1. 雪の中から浮かび上がるヘラジカ                  (国立民族学博物館)</p>	<p>2. 拓本（ヘラジカ）                  (国立民族学博物館)</p>	<p>3. うずくまるシカ                  (国立民族学博物館)</p>
		
<p>4. 冬のアムール河での穴釣り                  (国立民族学博物館)</p>	<p>5. 夏のアムール河                  (国立民族学博物館)</p>	<p>6. 蓋付き白樺容器                  (国立民族学博物館)</p>

これらの広報画像はデータにて提供可能です。

ご入り用の画像があれば、総務課広報係まで次頁申込用紙の内容をお知らせください。

